Rotary

世界へのプレゼントになろう

2015-2016

Vol.10

Governor's Monthly Letter

Be a gift to the world

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2550

国際ロータリー第2550地区　ガバナー月信　4月号 April

足利フラワーパーク　藤

contents

ロータリーレート／1＄＝116円

- ガバナーメッセージ ……1
- IM 報告 ……3
- コーディネーターニュース ……8
- 新入会員 ……9
- 第2550地区2月会員増強・出席報告 ……9
- インフォメーション

Rotary

ロータリーの目的

The Object of Rotary

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある

第 1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。

第 2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。

第 3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。

第 4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

THE 4-WAY TEST

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか？
2. みんなに公平か？
3. 好意と友情を深めるか？
4. みんなのためになるかどうか？

特別月間：母子の健康

2015－16 年度
国際ロータリー第 2550 地区ガバナー
中谷 研一（なかや けんいち）【足利東】
Kenichi Nakaya

2014年10月RI理事会は、重点分野とした「母子の健康月間」である４月を、５歳未満の幼児の死亡率と罹患率の削減、妊婦の死亡率と罹患率の削減、より多くの母子に対する基本的な医療サービスの提供、保健従事者を対象とした研修、保健ケアの提供、母子の健康に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための奨学金の支援を強調する月間としました。

まず、私たちは「母子の健康」という問題について世界の現状を理解しておかなければなりません。

昨年11月12日世界保健機構（WHO）、ユニセフ（国際連合児童基金）、国連人口基金（UNFPA: United Nations Population Fund）、世界銀行、国連人口部によって少々ショッキングなデータが発表されました。

「妊産婦死亡の動向：1990－2015（Trends in Maternal Mortality:1990 to 2015）」は、前回の発表からほぼ2年、全体として改善の兆しはあるものの、地域にとっては依然として厳しい現実が持続しているとっても過言ではないようです。ではその内容はどうでしょうか。今回の発表では、世界の妊産婦死亡数は年間303,000人で、世界中で妊産婦が毎日830人亡くなっていることになります。妊産婦死亡率(MMR :Maternal Mortality Ratio）は、世界平均で1990年には出生10万に対して385でありましたが、2015年には216と改善を認めています。しかし、開発途上国だけを見る239で、先進国（出席10万人に対して12）の約20倍の割合となっています。特にサハラ以南アフリカでは最も深刻で妊産婦死亡率は実に546となっています。またサハラ以南のアフリカ地域では、特に状況が悪く、全妊産婦死亡率の66％で201,000人、また南アジア地域でも22％、66,000人が亡くなっていると報告されています。最も妊産婦死亡率が高い国は、シエラレオネ共和国です。この国は、西アフリカの西部、大西洋岸に位置する共和国で、北はギニア、南東はリベリアと国境を接し、南西は大西洋に面した国です。シエラレオネでは、妊産婦死亡率は実に1360と２年前に比べても1100から更に増加したことになります。この様に依然として妊産婦死亡率の多い国の特徴は、経済的な最貧国グループで、貧富の差や都市と農村などの地域間格差が大きく、更に内戦、政治的混乱、またエボラ出血熱等の感染症の影響を受けた国々が多いと言えそうです。ここで、既にお気づきになった方がいらっしゃるかも知れません。では、全妊産婦死亡率とサハラ以南アフリカとの関連性は何だったでしょうか？「水と衛生」の際のお話を致しました。改善された水源を利用できていない、そして改善された衛生設備を使用出来ていない等の項目に当てはまる国々が、まさに妊産婦死亡率の高い国サハラ以南アフリカ諸国であるという事になります。私たちが今後「母子の健康」について新たなプロジェクトを考えるうえで、どのような知識が必要となるのでしょうか。「母子の健康」について考えるとき、私たちは、時間的にもまた空間的にも非常に多くの問題を考え、対応していかなければなりません。「母子の健康」について考える場合、私たちはその特徴である長いスパンの中で、生ずる問題を検討していかなければなりません。その特徴として、妊娠前より始まり、妊娠中・出産・産後／新生児期・乳幼児期・幼児期等の経過の中で生ずる多くの問題があり、その時期に生じた問題に対応していく必要があります。では次に、新生児期から乳児期に至るまでに、世界ではどのような状況となっているのか考えてみましょう。ユニセフによれば、年間260万人の子供たちが出生後1か月を生き抜くことが出来ません。栄養状態の問題では、５歳未満児死亡は1990年

ガバナーメッセージ

1,270万人から2013年には630万人に減少しました。しかし、その約半数である300万人の死の原因として栄養不良が関係とされ、またその残りの死因は肺炎・下痢・マラリアとされています。この為、世界で今なお約5秒に1人、幼い子供たちが5歳の誕生日を迎えることなく亡くなっているという現実をどの様に受け止めればよいでしょうか。更に、年間150万人の子供たちが、予防接種で防げるはずの病気で命を落としています。子供たちが成長していく過程でも大きな問題があります。戦争や紛争の中、戦争孤児、奴隷となる子供たち、少年兵士、性的虐待を受ける女子たち。戦争・紛争地以外でも同じように子供たちが直面する問題があります。

1992年私は初めてフィリピン・マニラ市に入りました。当時を振り返ってみますと、まず目についたのがストリートチルドレンの多さでした。車が信号で止まれば、車に群がる子供たち。「お金を頂戴」、「食べ物を頂戴」、「物を買って頂戴」等大きな声をあげて集まる子供たち。当時支援を頂いたダウンタウン・マニラRCのロータリアンから「決してお金を上げないで下さい、彼らの裏にはマフィアがはびこっていて、子供たちに渡したお金はマフィアに吸い取られ彼らの資金になるだけですから」と言われた事を思い出します。マフィアに搾取される子供たち。そんな多くのストリートチルドレンの中にも階級制度があります。年齢の下の子供は新たな年下の子供が入らなければいつになっても下っ端の役割を演じ続けなければなりません。夜になれば、子供たちは運が良ければ街角に設置されたごみ箱の中に足を折りしゃがみ、雨を防ぐため頭の上にダンボールの板を乗せ寝ています。運悪くごみ箱が他の子供に占拠されてしまった子供たちは、まさに道路の片隅やバス停のベンチを寝床にして寝ていました。更に、廃止されたゴミ集積場スモーキーマウンテンやケソン市に移設されたゴミ集積場パヤタスで鉄くずを探し、ビニールのサンダルや素足でゴミの山に入り生活費を稼ぐ為朝から働く子供たち。人身売買される新生児や乳児たち。性的虐待を受ける幼い少女たち。暴力と殺人に巻き込まれる子供たち。この24年間で、実に多くの子供たちを見てきました。こんな劣悪な環境の中、性的虐待を受けた少女たちを収容している州政府の施設があります。“HAVEN（安住の地）”と言います。この施設は各州に設置され、州政府により運営されています。私が最初に訪問した施設が、パンパンガー州Angeles（アンヘルス）市郊外のアラヤット山のふもとにあるHAVENでした。当時80人を超える女子が保護されていましたが、レイプされこの施設で出産し子供と一緒に暮らしていた女子も数名いたと記憶しています。何とか社会復帰させる方法はないかと思案した結果、クラブとしてLivelihood projectを計画し活動を開始しました。そしてプロジェクトを開始し早くも15年が経過してしまいました。現在HAVENでは、当クラブで寄贈したオーブンを使いフェアートレイドを利用して「オートミールクッキー」を売り出したところ爆発的な売れ行きとなり、その売り上げで施設内の設備補充や教材の購入等に活用され、ようやく少しですが有効活用ができる様になったと思います。今後、本来のLivelihood programに拡大される事を期待しています。しかしフィリピンの現状では、今でも保護されてくる少女たちは後を絶ちません。フィリピン内でもこの様な施設がたくさん存在しています。皆さんの中で、こういった保護された少女たちの社会復帰に協力してみたいとお考えの方、クラブはないでしょうか？既にご理解を頂いていると思いますが、ロータリー財団（TRF）の地区補助金を申請し、プログラムが地区TRFより承認されれば国内ばかりでなく国際社会においても活動の補助として利用する事が可能です。私たちが活動していく中で、大規模の活動を立ち上げる事は非常の難しい状況があると思います。やはり私たちが国際社会で初めて活動を開始する際は少額で有効な国際奉仕活動が可能となるプロジェクトを検討する事が必要ではないでしょうか。是非、皆さんのクラブの中で、また皆さんご自身で、どの様な国際貢献が可能となるのか是非ご検討をお願いいたします。

ＩＭ報告

第３グループＡ・Ｂ合同IM開催報告

2016年２月25日(木)

第３グループＡガバナー補佐　保　坂　正　裕
第３グループＢガバナー補佐　内　山　浩　志

第３グループA･B合同のＩＭは２月25日（木）午後４時から宇都宮西ロータリークラブがホストで宇都宮東武ホテルグランデにて開催致しました。また来賓挨拶として中谷研一ガバナーがご挨拶され、そして司会はホストクラブ富樫文隆会員とエフエム栃木アナウンサー須賀由美子様進行のもとに始められました。国歌斉唱はシンガーソングライターの小川紗綾佳様の国歌斉唱で非常に感動的でした。

第１部では講演者として、国際ロータリー第2750地区、東京恵比寿ロータリークラブ会員で女優でもある松島トモ子様の演題、ロータリーとの出会い、自分にとってロータリーとは、また旧満州から母とともに日本に引揚げた時のさまざまな話と自分の人生の生い立ちなどお話されました。

そして第２部では、パネルディスカッション方式で各クラブより１名ずつ選出して頂き、第３グループAから入会15年以上の会員５名の方々、そして第３グループBから入会３年未満の会員５名の方々にパネラーで壇上に上がって頂き、またコーディネーターは保坂正裕ガバナー補佐と、内山ガバナー補佐、司会は須賀由美子アナウンサーによってすすめられました。３年未満の会員の方々への質問は①入会のきっかけ　②入会して良かったか　③楽しい例会にする為にはどの様にすれば良いか　④自分が会員増強で勧誘するにはどのようにＲＣを勧めるか　⑤今後ＲＣを続けていくか

また、15年以上の会員の方々には①長年ＲＣを続けてきた理由　②退会を考えたことがあるか　③ＲＣが昔と今で変わった点　④例会のありかた　⑤ＲＣの根幹は「職業奉仕」と言われるが、自分そして仕事の中で変わったこと　⑥ＲＣを通じて自分が成長できた点　等さまざまな話が聞くことができ、そして総評は、鈴木宏パストガバナーより御言葉を頂き素晴らしい時間を過ごすことができました。

親睦会では、講演者の松島トモ子様も参加され、ロータリアンの方々が記念写真などそれぞれコミュニケーションをはかられており、また、シンガーソングライターの小川紗綾佳様のミニコンサートでは、会員の皆様が耳を傾けながら個々の親睦をはかって盛り上がったことに感動しました。

ホストクラブの宇都宮西ロータリークラブの皆様と各ロータリアンの皆様のおかげでこのＩＭが出来ましたことを保坂、内山ともに深く感謝しております。有難うございました。

パネルディスカッション出席者

パネラー

３年未満の会員

宇都宮東 RC	田原　聖　様
宇都宮南 RC	酒澤　伸二様
宇都宮陽東 RC	名村　史絵 様
宇都宮陽南 RC	日向野竜司 様
宇都宮さつき RC	亀井　一郎 様

15年以上の会員

宇都宮 RC	喜谷　辰夫 様
宇都宮西 RC	床井　健一 様
宇都宮北 RC	佐伯　秀利 様
宇都宮 90RC	卯木　伸男 様
宇都宮北 RC	長　　正英 様

参加ありがとうございました

ＩＭ報告

第４グループIM開催報告

2016年２月21日(日)

第４グループガバナー補佐　平　野　良　和

2015－16 年度 RI2550 地区第 4 グループの IM は、2 月 21 日(日)、中谷研一ガバナーを来賓にグループ内 4 クラブ 113 名の参加のもと、益子 RC をホストに開催されました。　於：アプローズ益子（益子町）

牟田紀一 IM 実行委員長の「開会の辞」、平野良和ガバナー補佐の「点鐘」、「来賓並びに参加クラブ紹介」及び「挨拶」、佐藤広志益子 RC 会長の「歓迎の辞」でスタート、「クラブ現況報告」では、田村浩次真岡 RC 、鈴木定男真岡西 RC、川中子隆しもつけ RC、佐藤広志益子 RC、各会長より活発なクラブ活動状況が報告されました。上野徳浩次年度ガバナー補佐の「挨拶及び次年度会長・幹事紹介」、そして関口勝義益子 RC パスト会長の「閉会の辞」で第 1 部が終了しました。〈第 1・2 部司会〉梅野聡会員、〈ソングリーダー〉都野祐俊会員。

IM は、知識を広めることも目的の一つです。第 2 部は古代史研究家の福田三男氏による講演「下野古麻呂と下野薬師寺」。〈講師紹介〉藤原郁三会員。

大和政権の法典「大宝律令」、藤原不比等と共にその撰定に携わった下野国ゆかりの「下野古麻呂」、その古麻呂も創建に関わった「下野薬師寺」、その大伽藍は下野の民の度肝を抜いたことでしょう。千三百余年の昔、我々の先人が時代の最前線で活躍していたこと、胸躍るものがありました。

第 3 部は「懇親会」、ここで中谷研一ガバナーが到着、挨拶をいただきました。一日で第 7G（日光）、第 5G（小山）そして第 4G（益子）の IM に出席するという日程、ガバナーのタフさに一同感心しました。アトラクションでは益子在住の高嶋聡美さんの「マリンバの演奏」を鑑賞「懇親会」は中谷ガバナーを交え、大いに盛り上がりました。最後は、大きな「Fellowship の輪」をつくり、「手に手をつないで」を合唱して大団円となりました。

〈第 3 部司会〉大畑　和広会員

地区内主要行事

4月　3日(日)	2016－17地区研修･協議会	足利市民プラザ
4月10日(日)	しもつけRC創立20周年記念式典	宇都宮グランドホテル
4月17日(日)	米山新奨学生･カウンセラー対象オリエンテーション	ホテルニューイタヤ
5月28日(土)	国際大会　第2550地区栃木ナイト	韓国　ソウル　（コインドル）
6月11日(土)	2016年国際ロータリー規定審議会の報告会	宇都宮グランドホテル
6月12日(日)	高校生RYLAセミナー	宇都宮共和大学宇都宮シティキャンパス
6月12日(日)	一年交換学生修了式	ホテルニューイタヤ
6月19日(日)	米山2016年度第1回地区委員会 米山奨学生卓話研修会	ホテルニューイタヤ

第６グループIM開催報告

2016年3月6日（日）

第６グループガバナー補佐　若　菜　秀　夫

2016 年 3 月 6 日、第 6 グループ（栃木 RC・栃木西 RC・壬生 RC・栃木南 RC）の 4 クラブで開催しました。天候にも恵まれ、親睦を図り、地域と共に根差して、盛大に挙行することが出来ました。当日は、栃木市長の鈴木俊美様、国学院大学栃木短期大学の木村好成理事長様、中谷研一ガバナー様にご参加頂きました。

まず、3 年未満の新入会員の研修セミナーを落合雅雄様よりご講話頂きました。ロータリーが身になるための講義になったと思います。

第一部としまして、国学院大学栃木短期大学の木村好成理事長様の「人の縁」と題しました講話を頂き、人のつながりの大切さを教わりました。

また、第二部としまして、トランペット＆ピアノの演奏会を開催し、一時の癒された時間を全員で過ごしました。とてもすばらしい音色に本当に癒されました。

最後には、ロータリーソング「手に手つないで」を全員で合唱し、４クラブの皆様がロータリーの友情を深める場となりました。本当にありがとうございました。

ＩＭ報告

第８グループIM開催報告

2016年２月13日(土)

第８グループガバナー補佐　近　藤　隆　彦

当日は、朝から好天気に恵まれ、足利西ロータリークラブホストのもと、中谷ガバナーにご臨席を頂き、開催致しました。

第１部は、栃木秀麿ガバナーエレクトを講師にお迎えし、「ロータリーの『職業奉仕』とはなにか？」につきまして、新会員研修セミナーを開催致しました。

第２部は本会議です。来賓挨拶として中谷ガバナーにお話しを頂きました。このＩＭは決定事項というのでは無く、プログラムに基づいてディスカッションする場でございます。その目的は、会員相互の親睦や多くの知識を得るものです。そしてロータリーの情報を伝え、ロータリーの奉仕の理想を研鑽する場でもありますとガバナーがおっしゃいました。それから、各クラブ会長によります活動報告がございました。クラブ毎に特徴のある行事や奉仕作業について報告がございました。

又、当クラブがお世話をしております、一年交換学生（アナ・ジャコミさん）の挨拶もございました。

第３部は、講師に第２ゾーンロータリーコーディネーターの金杉誠様（横浜西ＲＣ）をお迎えし、「戦略計画とクラブ活性化」について記念講演会を行いました。

第４部は懇親会です。アトラクションとして、邉見美帆子さんのハープ演奏をバックに会食をしながら親睦を深めました。

最後の「手に手つないで」のロータリーソングに、和気藹々、笑顔で終了する事が出来、ホット致しました。

このＩＭを開催するにあたり、当クラブ会員は勿論、足利４ロータリークラブの皆様のご協力の下、無事開催する事が出来ました事、心より感謝申し上げます。これでＩＭの報告とさせていただきます。

ありがとうございました。

ＩM報告

第９グループIM開催報告

2016年2月27日(土)

第９グループガバナー補佐　飯　島　　満

去る平成 28 年 2 月 27 日（土）　午後 3 時から国際ロータリー第 2550 地区　第 9 グループ IM が田沼ロータリークラブのホストで、佐野市内のホテルサンルート佐野で開催されました。

中谷研一ガバナー、栃木秀麿ガバナーエレクト、佐野正行パストガバナーのご臨席を賜り、　　川田守実行委員長のもとに、第 9 グループ会員百数十名の参加を得て、盛大に行われました。

本会議では中谷ガバナーの来賓挨拶に始まり、各クラブの現況報告（クラブ設立順）がありそれぞれのクラブの現況を理解しあいました。

記念講演では、佐野短期大学学長　佐藤三武郎先生の演題として「異文化交流のおもしろさ」としてご講演賜り、日本始め世界各国の文化をご講演していただき、文化の違いを興味深く楽しく耳をかたむけ感心しました。

懇親会では、アトラクションとして「masumi ＆ friends」の女性の格調高い歌声と楽器演奏のなか久しぶりに出合う会員の皆様と和やかに思い出話しや、奉仕の理想を求めて会話がはずみました。

本日の IM を通じて、第 9 グループ内の親睦と絆を深め、有意義な 1 日になりました。

コーディネーターニュース　2016年 4月号

第3ゾーン　ロータリーコーディネーター補佐 横　山　守　雄

RIシニアリーダーや各地区のガバナーが毎年度、本年度は「会員純増」目標として、各クラブ1名とか2名、或は3%とか5%といった数値目標を掲げて参りました。しかしながら、達成が簡単と思われるようなこの様な数値目標が、過去10年スパンの日本の会員数動向を見ますと、実際には達成が難しく、長期的にはマイナストレンドが続いています。

ロータリーのトップリーダーとしては、その立場上、会員増強の毎年度の数値目標を掲げないわけにはいかないことは理解できますが、その純増に必要な数名をなぜ達成出来なかったのか、その分析と今後達成可能な方法論を示せなかったことが、結果的に継続的な純減を招いたとも言えます。

会員増強がトップリーダーの掛け声だけで達成できたのは過去の産物かもしれません。日本では少子高齢化社会が早いスピードで進行してゆきます。働き手の65歳以下の職業人は10数年後には3人に1人となります。その様な変化が激しい現代社会では、特に若年層の生活感が多様化しています。ジョン・ジャームRI次年度会長は、会員50名以上のクラブにおいては40歳以下の会員を4名以上、50名以下のクラブでは2名以上入会出来るようにしてくださいと提唱されていますが、果たしてクラブ運営費が高い日本の都市型クラブへ入会可能な若年層の会員候補者が何名あるかです。各クラブの現状では高いハードルと思われます。

会員基盤を強化するには、各クラブが従来のクラブ運営方法やコストなどの基礎的な条件を見直し、若年層の人々が入会出来るように「クラブの体質」そのものを徐々にでも変えて行かなければクラブ会員の高齢化が進む一方で、会員の若返り、世代交代が停滞します。

各クラブの「インフラ整備」なくして会員増強はあり得ない時代になっているのではないでしょうか。しかしながらロータリークラブの運営管理システムは「単年度制」ですから、クラブの「インフラ整備」には少なくとも3ー5年間のスパンで継続的に整備して行かなければ、成果が表れてきません。急がば回れです。

第2660地区においては、この様な考え方をベースに81の各クラブが「クラブ戦略計画委員会」を立上げ、各クラブ独自の中長期の戦略計画の立案と推進を図るべく取組んでおります。本年度中に既に78%のクラブが「クラブ戦略計画委員会」立上げておりますので、数年以内に全クラブによるBottom-upの力で会員基盤が強化される方向へ進むことを期待しております。

物故会員　謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

物故　平成28年1月13日
享年81歳

早津尚夫（はやつひさお）様

【宇都宮陽東RC】

◆生年月日　昭和9年11月27日
◆入会年月日　平成5年5月6日

◆ロータリー歴
1995～1996年　副会長
1996～1997年　会長（第5代）
2002年　10周年記念実行委員長

◆財団、米山記念奨学会などの寄付歴
1996～1997度　ベネファクター
2007～2008度　マルチプル・ポール・ハリス
1998～1999度　ポール・ハリス・フェロー
1995～1996度　米山功労者　　2003～2004度　米山功労者
2002～2003度　米山功労者　　2009～2010度　米山功労者

新入会員

原　新一（はら　しんいち）

小山RC
リンクス株式会社
代表取締役

平成27年9月13日入会

伝統あるロータリークラブにご推薦頂き､光栄に思います。わからないことばかりですが､宜しくお願い致します。

渡辺浩美（わたなべ　ひろみ）

宇都宮南RC
株式会社足利銀行
江曽島支店 支店長

平成28年1月27日入会

伝統ある宇都宮南RCの一員として奉仕の精神を胸に精一杯活動します。

菊地章浩（きくち　あきひろ）

宇都宮東RC
宇都宮証券株式会社
宇都宮東支店 支店長

平成28年2月2日入会

皆様のご指導を頂きながら頑張って参りますのでどうぞよろしくお願い致します。

和貝益男（わがい　えきお）

今市きぬRC
フタバ快生堂薬局
取締役（㈱MTファルマ）

平成28年3月1日入会

地域に根ざした薬局を営み84年。これからは皆様と共に広く奉仕の精神で。

旭野好紀（あさひの　よしのり）

宇都宮RC
株式会社イエローバード
ＣＥＯ

平成28年3月3日入会

若輩者ですが、先輩方の様なロータリアンになれるようご指導宜しくお願いします。

第2550地区 2月会員増強・出席報告

分区	クラブ名	例回数	出席率 今月	出席率 平均	会員数 7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性会員
第1グループ	大田原	4	74.21	76.15	33	32	0	0	2	3	-1	1
	黒磯	4	90.83	94.29	41	40	0	0	0	1	-1	2
	西那須野	4	86.80	88.20	39	38	0	0	2	3	-1	0
	黒羽	3	90.48	94.59	14	14	0	0	0	0	0	0
	那須	3	71.43	74.95	9	8	0	0	0	1	-1	2
	塩原	4	77.70	75.40	9	9	0	0	0	0	0	3
	大田原中央	4	72.19	65.79	23	23	0	0	1	1	0	1
第2グループ	烏山	3	93.20	89.41	13	14	0	0	1	0	1	1
	氏家	3	79.10	77.11	22	23	1	2	3	2	1	0
	矢板	4	72.07	70.97	13	15	0	0	2	0	2	2
	馬頭小川	4	92.50	93.08	18	18	0	0	0	0	0	0
	高根沢	4	89.50	89.83	15	14	0	0	2	3	-1	0
第3グループA	宇都宮	4	67.30	65.63	100	107	0	0	10	3	7	0
	宇都宮西	3	81.53	82.97	73	74	0	0	2	1	1	0
	宇都宮北	3	81.59	83.52	48	49	0	0	1	0	1	0
	宇都宮90	5	90.10	91.66	44	43	0	0	2	3	-1	3
	宇都宮陽北	4	80.95	80.40	33	36	0	0	4	1	3	3
第3グループB	宇都宮東	4	93.22	93.56	108	113	1	1	7	2	5	0
	宇都宮南	4	81.24	84.88	46	50	0	0	4	0	4	1
	宇都宮陽東	4	84.60	78.24	45	47	0	0	3	1	2	3
	宇都宮陽南	3	82.17	79.78	19	20	1	0	3	2	1	5
	宇都宮さつき	5	80.00	85.94	25	25	0	1	1	1	0	2
第4グループ	真岡	5	93.62	94.29	50	51	0	0	4	3	1	0
	益子	3	88.10	90.41	26	29	0	0	3	0	3	2
	真岡西	4	91.92	89.50	39	41	0	0	2	0	2	4
	しもつけ	3	94.70	93.87	34	34	0	0	0	0	0	8

分区	クラブ名	例回数	出席率 今月	出席率 平均	会員数 7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性会員
第5グループ	小山	3	94.70	94.75	33	32	0	0	1	2	-1	0
	小山南	4	89.45	94.64	23	20	1	0	1	4	-3	4
	小山東	4	92.00	88.10	28	28	0	0	0	0	0	0
	小山北	4	93.75	83.85	19	20	0	0	2	1	1	0
	小山中央	5	74.67	74.89	30	30	0	0	0	0	0	2
第6グループ	栃木	4	79.80	78.03	41	43	0	0	2	0	2	1
	栃木西	4	85.57	85.02	27	26	0	0	1	2	-1	0
	壬生	4	83.75	88.12	19	20	0	0	1	0	1	2
	栃木南	3	87.70	88.31	35	35	0	0	0	0	0	7
第7グループ	日光	4	81.82	79.12	22	22	0	0	0	0	0	5
	鹿沼	3	69.66	74.70	62	62	0	1	3	3	0	1
	今市	4	68.03	82.42	43	43	1	0	2	2	0	0
	鹿沼東	4	83.55	87.67	40	41	1	0	2	1	1	4
	粟野西方	4	96.40	92.03	8	7	0	0	0	1	-1	1
	鹿沼中央	3	80.00	85.90	21	20	0	0	0	1	-1	1
	今市きぬ	4	97.22	92.96	28	27	0	0	0	1	-1	1
第8グループ	足利	4	72.14	67.49	31	34	0	0	5	2	3	0
	足利東	4	85.60	83.75	51	50	0	0	3	4	-1	5
	足利西	5	86.15	87.21	14	13	0	0	0	1	-1	0
	足利わたらせ	4	88.06	88.88	31	31	0	0	0	0	0	0
第9グループ	佐野	5	89.32	90.13	68	67	0	0	1	2	-1	0
	葛生	3	88.20	89.33	35	34	0	0	2	3	-1	0
	田沼	4	93.05	91.77	40	39	0	0	0	1	-1	0
	佐野東	4	72.73	80.09	20	22	1	1	3	1	2	0
	岩舟	4	92.30	89.16	7	6	0	0	2	3	-1	0
	51RC		84.44	84.76	1715	1739	7	6	90	66	24	77

大田原RCより1月の会員数及び出席率の訂正がありました。

大田原ＲＣ	会員数	32名
	出席率	74.21%
地区平均出席率		84.88%

インフォメーション information

文庫通信 342号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー５０周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約２万４千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

「職業奉仕を学ぶ」

●「会社は誰のものか」 深川純一　2015　16p （職業奉仕を学ぶ）
●「企業の社会的責任（CSR）について」 安平和彦　2015　10p（職業奉仕を学ぶ）
●「職業奉仕月間に思うロータリーのこころ」 中谷研一　2016　3p （D.2550 月信）
●「職業奉仕月間について思う事」 梅津敏光　2016　1p （D.2800 月信）
●「職業奉仕活動の実例」 保延輝文　2016　2p （D.2820 月信）
●「職業奉仕月間に因んで　新入会に向けて」 福田武男　2015　4p （D.2510 月信）
●「職業奉仕について」 岩田勝美　2016　1p （D.2630 月信）
●「『四つのテスト』は職業奉仕の哲学」 坂本俊雄　2015　3p （ロータリーへの私の想い）

［上記申込先：ロータリー文庫 ］

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
TEL03-3433-6456　FAX：03-3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前 10 時～午後 5 時　　休館＝土・日・祝祭日

Rotary

国際ロータリー第2550地区　ガバナー事務所

〒320-0826 宇都宮市西原町142
宇都宮グランドホテル内
TEL. 028-651-2550　FAX. 028-651-2551
E-mail m2550@agate.plala.or.jp　URL　http://www.rid2550.com/